



第5回ピンクシャツデー朗読会 STOP! BULLING!

【ピンクシャツデーとは?】



カナダの学生2人から瞬く間に75カ国に広まった、いじめ反対運動。

カナダでは政府も動いて、毎年2月最終水曜日に開催されています。日本ではまだ知られておらず、世界から取り残されています。そのため、その痛みを知る小説家で詩人の中園直樹さんが、日本に広め続けています。

ピンクシャツデーのこの日に、いじめについて考えましょう。

- 1 日時 2016年2月24日(水) 午後5時半開場、6時~8時
- 2 場所 和室すたじお天野家・鉄腕アマノ塾
- 3 住所 東京都世田谷区等々力6-21-22
- 4 内容 いじめ、学校をテーマとした詩の朗読や体験談など
- 5 参加費 1,000円

*申込希望者は、必ず「世田谷会場」希望と天野までご連絡ください。

*申込 Mail: amano@mui.biglobe.ne.jp

TEL: 03-3704-7026

- 2007年のカナダの新学期、ピンクの服で登校した9年生(中学3年生)男子がいじめられます。
- それを知った12年生(高校3年生)男子2人がその日の内に50枚のピンクのシャツなどを購入。
- メールや掲示板で友人知人に呼びかけます。
- 翌朝、2人は校門前で配り着てもらいます。
- この日、呼びかけ以上の生徒がピンクの服で登校、学校がピンクに染まりいじめが消えます。
- 誰もが陥るジレンマ「直接止めたら自分がいじめられる」も「多数の意思表示」で解決します。
- 以降、毎年2月最終水曜日が学校や職場にピンクを身につけていくピンクシャツデーと定着。
- 2010年には75カ国が参加と、瞬く間に世界へ広まります。
- 英語圏の人々は人類共通のこの問題のために立ち上がっています。
- 日本でも、被害者の「命」を守るためにピンクシャツデーを広めましょう。

世界中に仲間がいる!

世界中が立ち上がっている!

中園直樹

中園直樹とは

1974年2月、大阪に生まれ、宮崎に育つ。

元・詩人会議常任運営委員。自らの過酷な

いじめ体験をもとにした小説や詩集などを発表。

2002年2月に自費出版の小説『オルゴール』が学生など若者に支持され小説家となる。

2011年2月にカナダ留学経験のある読者から連絡を受け、ピンクシャツデーを日本に広め始め、現在に至っている。

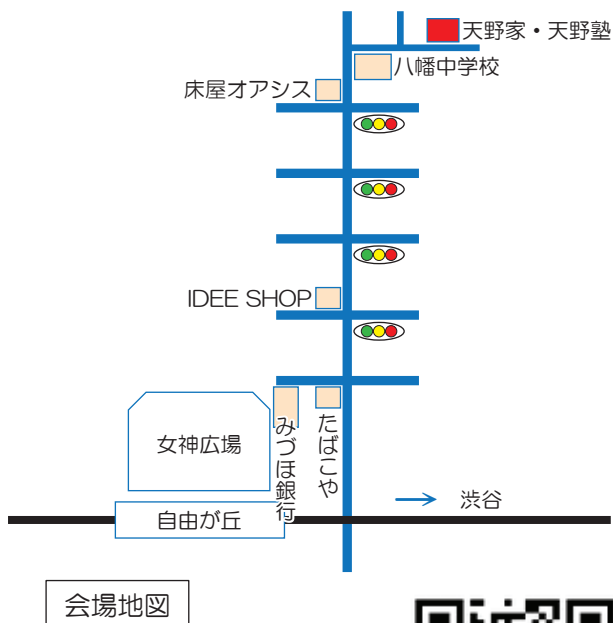


中園直樹の著書

(是非お近くの図書館で。手元に必用な際はご購入を)

- 小説『オルゴール』(文芸社 / 幻冬舎文庫)、
- 『星空マウス』、『ピエロで行こう』、『チョコレイトの夜』(文芸社)
- メッセージ本『たった一人でがんばっている君へ』(大和出版)
- 詩集『しんかい動物園』(視点社)
 - 中園直樹が紹介されている書籍
- 図書館本『感動ストーリーズ(2)「くじけぬ心」』(学研)

【公式HP: 詩と小説の小箱】URL: <http://nakazono.nanzo.net/>



会場地図



ホームページはこちら!

「ピンクシャツデーを日本に広めましょう!」<http://pinkshirtsday-nippon.jimdo.com/>

主催: 「ピンクシャツデーを日本に広めましょう!」 協力: NPO 法人カプラー・鉄腕アマノ塾・アリスねっと・大衆文藝ムジカ